

ヒノキアスナロ

ヒノキ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Thujopsis dolabrata (L. fil.) Sieb. et Zucc. var. *hondae* Makino

国カテゴリー

該当なし

選定理由

自生地は能登外浦地域の一部のみである。(現況:RO)

形態

葉はアスナロより小さく、鱗状葉で下面には白色の著しい気孔群がある。球果は熟せば帯赤褐色となる。球果の鱗片はほとんど円形で先の突起は僅かに隆起するがアスナロほどではない。

国内分布

北海道(渡島半島)、本州北部、佐渡。

県内分布

外浦区。

生態など

常緑高木。生長に伴い樹皮は縦に裂け暗赤褐色となる。樹幹は多くは円錐形だが、老年期は釣り鐘形となる。

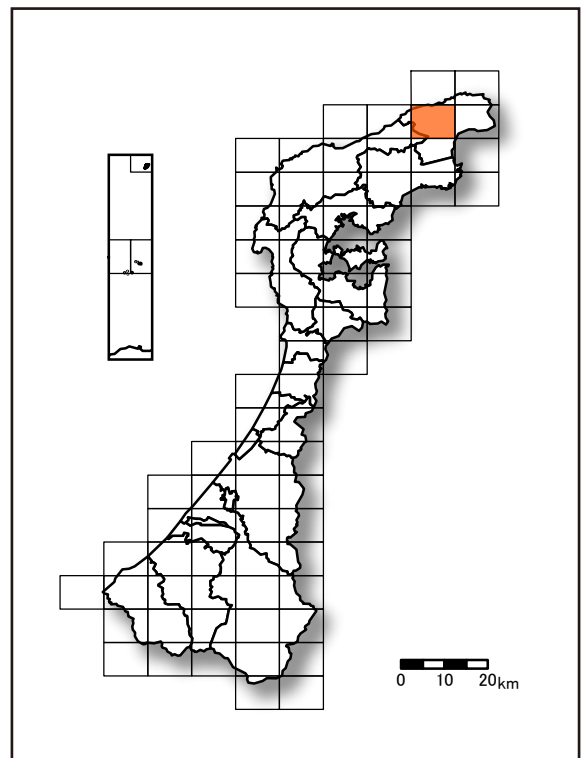
生育環境

ブナクラス域の下部に分布。

危険要因

森林伐採。

写真(図)はありません。



県内の分布